

## 学校通信

# ひがしやま 第52号

発行日 令和8年1月9日(金曜日)

発行者 別府市立東山幼稚園  
別府市立東山小学校  
別府市立東山中学校  
校(園)長 谷川 芳明

### ○3学期始業式を迎えて 1/8(木)

・私からは園児、児童生徒に、以下の話をしました。①「やりなさい」と言われて取り組むのではなく、自分で考えて、自分で決めて動くこと。②大きな目標でなくてもかまわないので、例えば、あいさつをしっかりとる、時間を守る、人の話を最後まで聞く、昨日より、少しでも勉強するなど、小さな積み重ねが1か月後、3か月後、1年後の大きな成長につながる。③中学1年生及び2年生は、卒業後の進路について、「どこの高校へ行くのか」ということだけではなく、「自分はどんな力を、これから先、身につけたいのか」「どんな自分になりたいか」を考えて、行動すること。④しめくくりの3学期。今の学年でやるべきことを最後までやり切ることが大事。

・児童生徒代表のあいさつでは、小学5年生が「自分の仕事(児童会)をしながら、他の人が困っていたら、助けてあげたい。広報部の新聞を頑張りたい」と。中学2年生が「受験生になるので、学習時間を確保し、忘れ物をしないことを目標に1年間を過ごしたい」と今年の抱負を園児、児童生徒の前で「宣言」しました。

★★

### ○大分県立歴史博物館出前授業 1/8(木)



・昨年度は、埴輪づくりを体験しましたが、今年度は、銅鏡づくり(三角縁神獣鏡)を体験しました。合金を溶かして、鋳型に流し込み、固まったら、サンドペーパーで目の粗さを変えながら、繰り返し磨くという工程です。初めに歴史博物館職員から施設の説明等を聞いた後、各班に分かれて作業に取り掛かりました。鋳型に流し込む作業では、高学年の児童が低学年の児童に寄り添い、「ゆっくり、ゆっくり」などと声をかけている様子がみられました。鏡面が「自分が写るくらい」と、一心不乱にサンドペーパーで磨き上げる子どもたちでした。